

2026 プロ野球ファーム・リーグ公式戦

楽天イーグルス対日本ハムファイターズ



プロ野球ファーム・リーグの公式戦が、本年も楽天イーグルス奇跡の一本松球場で行われます。ハイレベルなプロのプレーを間近で見ることができるチャンスですので、皆さんで大きな声援を送り、一緒に球場を盛り上げましょう！

◆日時：7月11日(土) 正午～(午前10時開場予定) ◆場所：楽天イーグルス奇跡の一本松球場

◆席種・価格

席種	区分	一般の人		優待チラシをお持ちの人 (小中学生のいる世帯に配布済み)
		前売	当日	
バックネット裏自由席		2,500円	3,000円	対象外
内野自由席(1塁側・3塁側) 外野自由席(レフト側・ライト側)		1,500円	2,000円	子ども：無料 大人：800円

◆申込方法 ※子ども価格は4歳から中学生までが対象です。※楽天イーグルスベンチは1塁側です。

- ①一般前売
 - ・右下のフォームから申し込み
 - ・窓口販売(アバッセたかた専門店街インフォメーション)
- ②一般当日 球場にて販売 (午前10時予定)
- ③優待(小中学生対象、7月8日(水)まで)
配布チラシに掲載している申し込みフォームから申し込み(先着)
※申し込みフォームからの申し込みには楽天IDが必要です。
※セブン・イレブンでチケットの発券(手数料165円/1枚)が必要です。



●ボランティアスタッフを募集します！

- ①従事時間：午前8時30分～午後5時頃(予定)
- ②業務内容：入場の受付、会場撤去
- ③申込方法：右のフォームから申し込み
- ④申込期限：6月30日(火)

ボランティアスタッフのお申し込みはこちら

チケットの購入はこちら

問い合わせ先 市役所交流推進課スポーツ交流係(内線411・415)

文化財 ニュース

けぞうじ ほうじゅ 「華蔵寺の宝珠マツ」宝珠化への道③

昨年から継続してお伝えしている、小友町・華蔵寺の国指定天然記念物「華蔵寺の宝珠マツ」が、本年も順調な成長を見せています。

宝珠マツの大きな特徴は、新しい枝の根元に雌花が密集して咲くことです。この花が受粉して成長した姿が、民衆の願いを成就させる仏の徳の象徴である「宝珠」に似ていることから、名づけられました。

昨年4月の写真(上)と比較すると、当時はまだ小さかった実が大きく茶色く育ち、宝珠の形に近づいているのが分かります。

さらに、本年春に咲いたばかりの赤い雌花は、密集している場所が昨年の18カ所から30カ所へと大幅に増え、こちらから宝珠に向けてすくすくと成長を続けています。

順調にいけば、本年の秋頃には、これまでにない見事な宝珠マツの姿をお披露目できそうです。



昨年の春に咲いた雌花
現在の球果(5月15日撮影)

問い合わせ先 市教育委員会教育総務課文化財係(内線556)

気仙地区手話奉仕員養成講座の事前説明会を開催します



気仙2市1町では、手話で日常生活の会話ができる程度の「手話奉仕員」を養成することを目的として、2年間のプログラムで手話奉仕員養成講座「入門課程」および「基礎課程」を開催しています。

本年度は「入門課程」を実施する予定としており、講座受講の流れや申し込み方法についての事前説明会を開催します。

開講期間(入門課程)

令和8年8月3日(月)～令和9年2月22日(月)全23回(原則、祝日を除く毎週月曜日)

事前説明会

- ◆日時：7月13日(月)午後7時～8時30分
- ◆場所：大船渡市防災観光交流センター 多目的ホール(大船渡市大船渡町字茶屋前7-6)
- ◆対象者(①～③の全てに該当する人)
 - ①市内在住または気仙管内に通勤する18歳以上の人
 - ②手話を初めて学ぶ人
 - ③本講座を受講したことがない人
- ◆申込期限：7月6日(月)

お申し込みはこちら

申し込み・問い合わせ先 市役所福祉課福祉係(内線214)

「第20回自治体国際交流表彰(総務大臣賞)」を受賞しました



本市の米国クレセントシティ市との交流事業が評価され、5月29日(金)に総務省で行われた表彰式で、総務副大臣より表彰状と記念の盾が贈呈されました。



自治体国際交流表彰(総務大臣賞)とは

総務省と一般財団法人自治体国際化協会「CLAIR(クリア)」が主催し、姉妹都市交流や特定の政策分野において、他の模範となる創造性豊かな国際交流に取り組む自治体を顕彰するもの。

本市の交流は、震災で流失した高田高校の実習船「かもめ」の漂着をきっかけに、高校生から市民レベルへの交流と広がり、防災や教育、文化面で実践的な成果を上げている点が「地域に活力を与える活動」として高く評価されました。

表彰式の場で佐々木市長は「10年以上にわたり両市の絆を育んできた市民の皆様の歩みの結晶。この『奇跡の絆』を次世代につなぎ、さらなる国際交流を推進する」と決意を述べました。



昨年の市民交流の様子

問い合わせ先 市役所企画政策課秘書係(内線335)